

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-203521

(43)Date of publication of application : 27.07.2001

---

(51)Int.Cl. H01Q 1/36  
H01Q 1/24  
H01Q 1/38  
H01Q 9/38

---

---

(21)Application number : 2000-390467 (71)Applicant : HYUNDAI ELECTRONICS IND CO LTD  
(22)Date of filing : 22.12.2000 (72)Inventor : BOKU KOKYU  
IN KENFU  
KIN TOSOBU

---

## (30)Priority

Priority number : 1999 9960437 Priority date : 22.12.1999 Priority country : KR  
1999 9960438 22.12.1999  
1999 9960440 22.12.1999 KR  
1999 9960442 22.12.1999  
KR  
KR

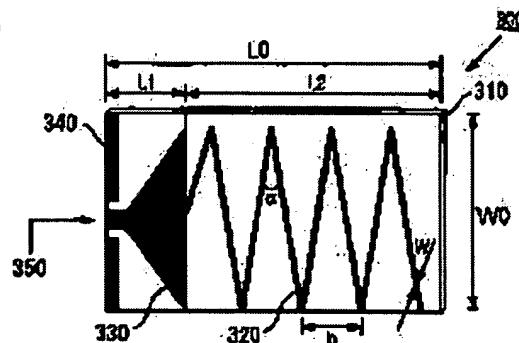
---

## (54) FLAT MICROSTRIP PATCH ANTENNA

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a zigzag shaped microstrip patch antenna that is built in a communication terminal.

SOLUTION: The flat microstrip patch antenna is provided with a base 310 made of a dielectric substance, a microstrip patch 320 made of a conductor placed on the board 310, a feeding conductor 330 electrically connected to one- side end of the microstrip patch 320, and a ground plane 340 made of a conductor formed to one side of the base 310.



---

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 11.05.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 02.06.2004

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-203521  
(P2001-203521A)

(43) 公開日 平成13年7月27日 (2001.7.27)

(51) IntCl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
H 0 1 Q	1/36	H 0 1 Q	1/36
	1/24		1/24
	1/38		1/38
	9/38		9/38
			Z

審査請求 有 請求項の数13 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-390467 (P2000-390467)

(22) 出願日 平成12年12月22日 (2000. 12. 22)

(31) 優先権主張番号 1 9 9 9 - 6 0 4 3 7

(32) 優先日 平成11年12月22日 (1999. 12. 22)

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(31) 優先権主張番号 1 9 9 9 - 6 0 4 3 8

(32) 優先日 平成11年12月22日 (1999. 12. 22)

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(31) 優先権主張番号 1 9 9 9 - 6 0 4 4 0

(32) 優先日 平成11年12月22日 (1999. 12. 22)

(33) 優先権主張国 韓国 (K R)

(71) 出願人 591024111

現代電子産業株式会社

大韓民国京畿道利川市夫鉢邑牙美里山136  
- 1

(72) 発明者 朴 恒 九

大韓民国京畿道利川市夫鉢邑牙美里山136  
- 1

(72) 発明者 尹 賢 普

大韓民国京畿道利川市夫鉢邑牙美里山136  
- 1

(74) 代理人 100065215

弁理士 三枝 英二 (外 8 名)

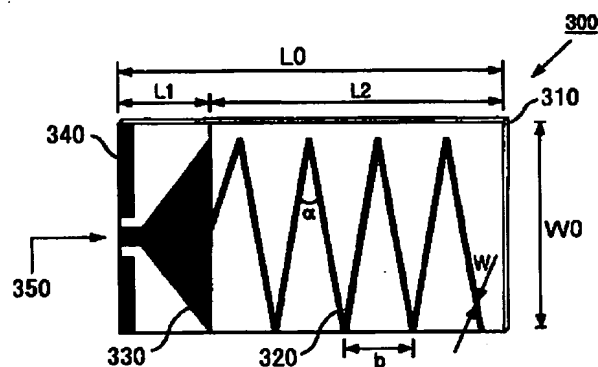
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 平面形マイクロストリップパッチアンテナ

(57) 【要約】

【課題】 通信端末器に内蔵することのできるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナを提供する。

【解決手段】 平面形マイクロストリップパッチアンテナにおいて、誘電物質からなる基板310と、基板310上に導電体によって形成されるマイクロストリップパッチ320と、マイクロストリップパッチ320の片側の端部に電気的に接続された給電導体330と、基板310の片面に形成された導電体からなる接地面340とを備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 誘電物質からなる基板と、

該基板上に形成されて導電体からなるマイクロストリップパッチと、

該マイクロストリップパッチの片側の端部に電氣的に接続された給電導体と、

前記基板の片面に形成された導電体からなる接地面とを備える平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項2】 前記マイクロストリップパッチは、ジグザグ形状であることを特徴とする請求項1に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項3】 前記マイクロストリップパッチは、Hスロット形状であることを特徴とする請求項1に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項4】 1つの前記ジグザグ形状マイクロストリップパッチを備えることを特徴とする請求項2に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項5】 2つの前記ジグザグ形状マイクロストリップパッチを備えることを特徴とする請求項2に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項6】 3つの前記ジグザグ形状マイクロストリップパッチを備えることを特徴とする請求項2に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項7】 前記給電導体は、三角パッド形状に形成されることを特徴とする請求項2に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項8】 2つの前記Hスロット型マイクロストリップパッチを備えることを特徴とする請求項3に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項9】 前記基板は、比誘電率が約2.33の誘電体からなることを特徴とする請求項1に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項10】 端末器内蔵型であることを特徴とする請求項1に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項11】 中心周波数が約1.8GHzであることを特徴とする請求項1に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項12】 所定の周波数帯域におけるインピーダンスが約50Ωであることを特徴とする請求項1に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

【請求項13】 電圧定在波比が約1.9:1であることを特徴とする請求項1に記載の平面形マイクロストリップパッチアンテナ。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、ジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナに関し、特に個人通信サービス(PCS: Personal Communication Services)と無線加入者網(WLL: Wireless Local Loop)端末器に内蔵され

るマイクロストリップパッチアンテナに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、互いに異なる周波数帯域を使用する個人通信サービス端末器及び無線加入者網端末器が広く普及することによって、両周波数帯域において使用できるアンテナが必要となっているが、現在最も多く用いられている端末器アンテナは、ヘリカル(helical)アンテナである。端末器アンテナ100は、収納状態においてはヘリカルアンテナとして動作し、伸長状態においては、ヘリカルアンテナとモノポール(monopole)アンテナとの結合により動作しており、また携帯用端末器本体のハウジング(housing)は接地面として利用されている。

【0003】図1A及び図1Bは、端末器アンテナ100の断面図であり、各々ロッドアンテナの収納及び伸長時の動作状態を示すものである。図に示したように、従来の端末器アンテナ100は、導電性コア12とその外郭を取り巻く絶縁体14からなるロッドアンテナ8、前記ロッドアンテナ8を支持し絶縁及び非磁性物質からなる支持部材110、前記ロッドアンテナ8の収納及び伸長時に取っ手の役割をするボタン16、螺旋状の弾性を有した金属ワイヤーからなるヘリカルアンテナ6、上部に貫通孔120があり絶縁及び非磁性物質からなるフード18、及び前記ロッドアンテナ8の上部、下部の境界地点において接触部28とヘリカルアンテナ6とを互いに電氣的に接触させるための金属から形成されているコンタクト座金(contact washer)22を備えている。ここで、前記接触部28は、ロッドアンテナ8の伸長時には前記コンタクト座金22を持ち上げる役割をして、図1Bに示すように、ヘリカルワイヤーが圧縮されることとなる。

【0004】また、連結部26は、電氣的にトランシーバ2に直接接続されているので、ヘリカルアンテナ6が活性化された場合、すなわちロッドアンテナ8が収納された場合には、コンタクト座金22とコンタクト素子24とが接触することによってヘリカルアンテナ6と連結部26とが電氣的に接続されることとなり、ヘリカルアンテナ6はトランシーバ2に電氣的に接続されることとなり、反対の場合、すなわちロッドアンテナ8が伸長された場合には、ヘリカルアンテナ6がトランシーバ2と電氣的に分離されることとなる。

【0005】しかしながら、上記した従来の端末器アンテナ100は、端末器の外側に取り付けられていることから、小型化する上で多くの制限があり、放射パターンがアンテナ全体の中心部から表われることになって電磁波により人体頭部が影響を受けるだけでなく、ユーザによりアンテナの放射が妨害を受けて放射効率の低下を招く。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、携帯用通信端末器から発生する電磁波が人体に及ぼす影響を低減すると共に放射効率の高いジグザグ形状マイクロストリップ

ブパッチアンテナを提供することを目的としている。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明に係る平面形マイクロストリップパッチアンテナは、誘電物質からなる基板と、該基板上に形成されて導電体からなるマイクロストリップパッチと、該マイクロストリップパッチの片側の端部に電氣的に接続された給電導体と、前記基板の片面に連結された導電体からなる接地面とを備える。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明が属する技術分野における通常の知識を有するものが本発明の技術的思想を容易に実施できるほどに詳細に説明するため、本発明の最も好ましい実施の形態を添付した図面を参照して説明する。

【0009】図2A及び図2Bは、本発明の第1の実施の形態にかかる端末器内部に装着可能なHスロット型(H-Slot)マイクロストリップパッチアンテナを示す。

【0010】図2Aは、Hスロット平面形マイクロストリップパッチアンテナ200を示す正面図であり、金属板210の側面に平行にH型のしわのあるスロット220が形成さ

＊れている。スロット220の長さL1は $\lambda/4$  ( $\lambda$ は波長)であり、このような形態の電磁気結合による給電方式は、広帯域特性及び良好なインピーダンスマッチングを実現するだけでなく、放射効率が良く強い電波を放射することが可能である。

【0011】前記アンテナ200に対する給電は、図2Bに示したような給電線230により行なわれる。Hスロット220に所定の電源を供給するとともに受信信号を入力するための給電線230は、図2Aに示したようにHスロット220の中央部まで延びている。

【0012】Hスロット平面形マイクロストリップアンテナ200の仕様は、表1に示されているように、受信周波数帯域の中心波長数が1.8GHz、帯域幅が170MHz、インピーダンスが50Ωである。ここで、アンテナの利得が高いほどアンテナの放射パターンは狭くなり、したがって他の特性が同じであるならば、高い利得特性を有するアンテナの方が全方向放射アンテナよりも距離の面から効果的である。表1において、電圧定在波比は、アンテナに伝達される電圧と反射して戻ってくる電圧の比を表している。

【表1】

中心周波数	1.8GHz
帯域幅	170MHz
インピーダンス	50Ω
電圧定在波比(V. S. W. R)	1.9 : 1(MAX)
利得	2dBi
大きさ(幅×長さ×厚さ)	15×26×8(mm)

【0013】図3Aは、本発明の第2の実施の形態にかかる端末器内部に装着可能な1つの要素により構成された平面ジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナを示す。

【0014】製造方法を簡単に説明すれば、まず予め準備した高い比誘電率(例えば2.33)の基板310(例えばRT/Duroid™ 5880)上に導電性金属膜とフォトレジスト膜を順に形成し、該フォトレジストをパターンニングした後、これをマスクにしてフォトリソグラフィにより前記金属膜を蝕刻してマイクロストリップパッチ320を作る。次いで、マイクロストリップパッチ320と電氣的に接続される三角パッド330及び接地面340を順に形成する。この場合、三角パッド330及び接地面340も全て導電性金属により作成する。

【0015】図3Aに示したように、基板310の幅W0は12mmであって、長さL0は20mmである。また、L1は5mm、パッチ320の長さL2及びジグザグ形状の幅(以下「直径D」と

30 記す)は、各々15mm、12mmである。パッチ320の屈曲部(turn)の間隔bは3.5mmであり、ピッチ角αは16.59度であり、マイクロストリップパッチ320の厚さwは0.3mmである。

【0016】アンテナ300を垂直に設置して、給電点350から電力を供給することによって測定される放射パターンは、図3Bに示すようなEパターンを示す。また、アンテナ300を水平に設置して、同様に測定した放射パターンは、図3Cに示すようなHパターンを示す。

【0017】また、上記した1つの要素からなる平面ジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナ300の仕様は、下記の表2に示したように、受信周波数帯域の中心周波数は1.8GHz、帯域幅は200MHz、及び利得は約2.8dBiを実現し、広い帯域幅及び高い利得値を有することが分かる。

【表2】

中心周波数	1. 8GHz
帯域幅	200MHz
インピーダンス	50Ω
電圧定在波比(V. S. W. R)	1.9 : 1(MAX.)
利得	2.8dBi
大きさ(幅×長さ×厚さ)	12×20×8(mm)

【0018】図4Aは、本発明の第3の実施の形態にかかる端末器内部に装着可能な2つの要素を備える平面ジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナ400を示す。

【0019】製造方法は、上記で説明した1つの要素の平面ジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナ300の製造方法と同様であるので、説明は省略する。図4Aに示したように、基板410の幅W0は15mmであって、長さL0は27mmである。またL1は5mm、パッチ420の長さL2及び直径Dは、各々22mm、7mmである。パッチ420の屈曲部の間隔bは1. 5mmであって、ピッチ角αは12. 23度であり、マイクロストリップパッチ420の厚さwは0. 3mmであ

＊る。

10 【0020】アンテナ400を垂直に設置して、給電点450から電力を供給することによって測定される放射パターンは、図4Bに示すようなEパターンを表す。また、アンテナ400を水平に設置して、同様に測定した放射パターンは、図4Cに示すようなHパターンを示す。

【0021】前記2つの要素からなるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナ400の仕様は、下記の表3に示したように、受信周波数帯域の中心周波数は1. 8GHz、帯域幅は350MHzであり、利得は2. 5dBiを実現し、広い帯域幅及び高い利得値を有することが分かる。

【表3】

中心周波数	1. 8GHz
帯域幅	350MHz
インピーダンス	50Ω
電圧定在波比(V. S. W. R)	1.9 : 1(MAX.)
利得	2.5dBi
大きさ(幅×長さ×厚さ)	15×27×15(mm)

【0022】図5Aは、本発明の第4の実施の形態にかかる端末器内部に装着可能な3つの要素のジグザグ形状パッチ520を備える平面ジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナ500を示す。

【0023】製造方法は、上記と同様であるため、説明は省略する。図5Aに示したように、基板510の幅W0は25mmであって、長さL0は17mmである。また、パッチ520の直径Dは12mmであり、パッチ520の長さL2はλ/8に設計されている。ストリップを一直線にした時の総延長は(4/3)λであるので、この長さのマイクロストリップがパッチ520の長さである(1/8)λ内にジグザグ形状に挿入されるように設計したものである。ここで、ピッチ角αは約18. 92度である。

※

中心周波数	1. 8GHz
帯域幅	139MHz
インピーダンス	50Ω
電圧定在波比(V. S. W. R)	1.9 : 1(MAX.)
利得	1.9dBi
大きさ(幅×長さ×厚み)	25×17×8(mm)

※【0024】アンテナ500を垂直に設置して、給電点550から電力を供給することによって測定される放射パターンは、図5Bに示すようなEパターンを示す。また、アンテナ500を水平に設置して、同様に測定した放射パターンは、図5Cに示すようなHパターンを示す。

【0025】下記の表4は3つの要素からなるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナ500の仕様を表している。表4に示したように、受信周波数帯域の中心周波数は1. 8GHz、帯域幅は139MHzであり、利得は1. 9dBiを実現し、広い帯域幅及び高い利得値を有することが分かる。

【表4】

【0026】本発明の技術思想は、上記好ましい実施の

50 形態によって具体的に記述されたが、上記した実施の形

態は説明のためのものであって、制限のためのものではない。また、本発明の技術分野の通常の専門家であるならば、本発明の技術思想の範囲内において種々の実施の形態を実現可能である。

【0027】

【発明の効果】以上で説明したように、本発明によれば、端末器の内部に実装できるジグザグ形状アンテナを提供することによって、アンテナの効率を極大化させて放射パターン及び利得を改善することができ、また人体頭部に及ぼす電磁波の影響を最小化してアンテナの小型、軽量化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1A】 従来の端末器のロッドアンテナが収納された状態のアンテナを示す断面図である。

【図1B】 従来の端末器のロッドアンテナが伸長された状態のアンテナを示す断面図である。

【図2A】 本発明の第1の実施の形態にかかるHスロット型マイクロストリップパッチアンテナの概略を示す正面図である。

【図2B】 本発明の第1の実施の形態にかかるHスロット型マイクロストリップパッチアンテナの概略を示す裏面図である。

【図3A】 本発明の第2の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナの概略を示す正面図である。

【図3B】 本発明の第2の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナにおける電磁波放射のEパターンを示す図である。

\*

\*【図3C】 本発明の第2の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナにおける電磁波放射のHパターンを示す図である。

【図4A】 本発明の第3の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナの概略を示す正面図である。

【図4B】 本発明の第3の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナにおける電磁波放射のEパターンを示す図である。

10 【図4C】 本発明の第3の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナにおける電磁波放射のHパターンを示す図である。

【図5A】 本発明の第4の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナの概略を示す正面図である。

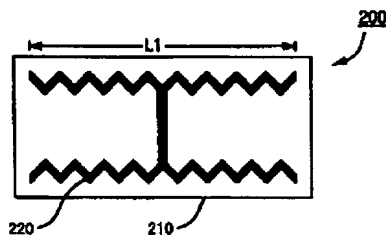
【図5B】 本発明の第4の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナにおける電磁波放射のEパターンを示す図である。

20 【図5C】 本発明の第4の実施の形態にかかるジグザグ形状マイクロストリップパッチアンテナにおける電磁波放射のHパターンを示す図である。

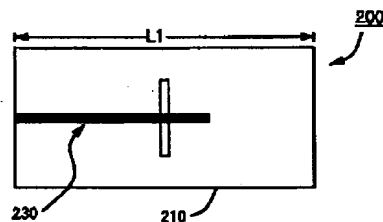
【符号の説明】

310、410、510	誘電体基板
320、420、520	マイクロストリップパッチ
330、430、530	三角パッド
340、440、540	接地面
350、450、550	給電点

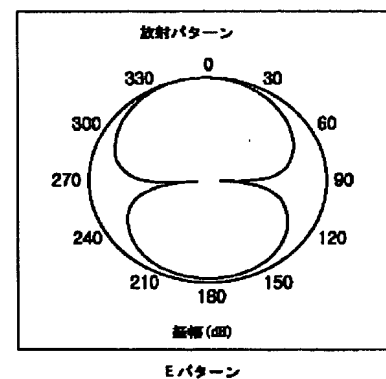
【図2A】



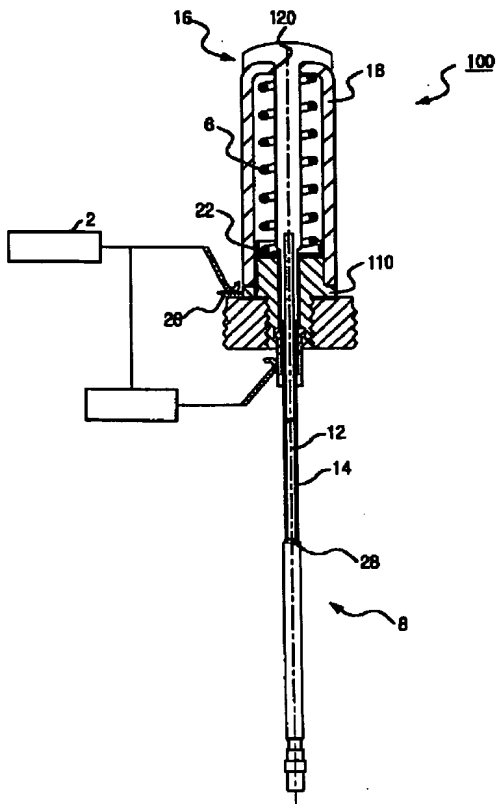
【図2B】



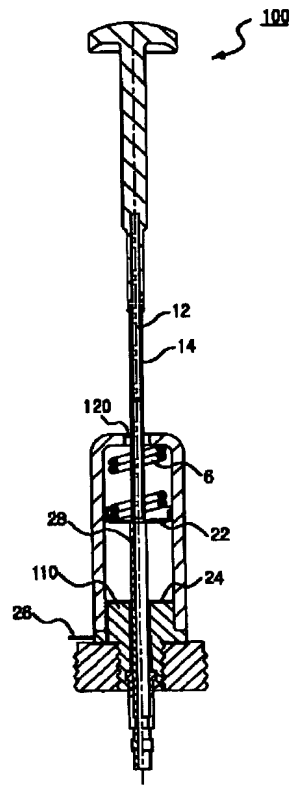
【図3B】



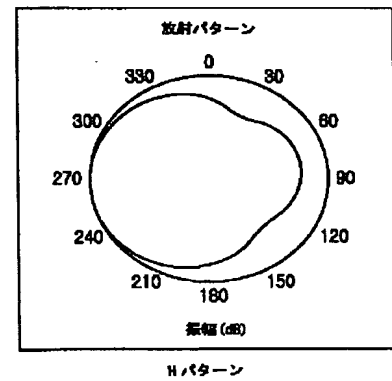
【図1A】



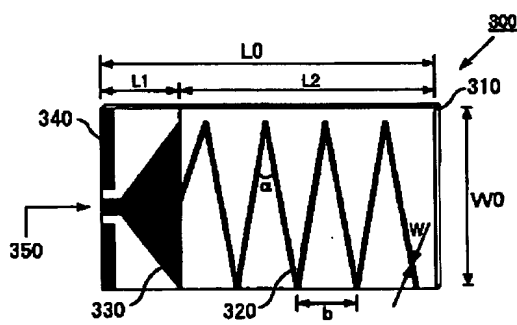
【図1B】



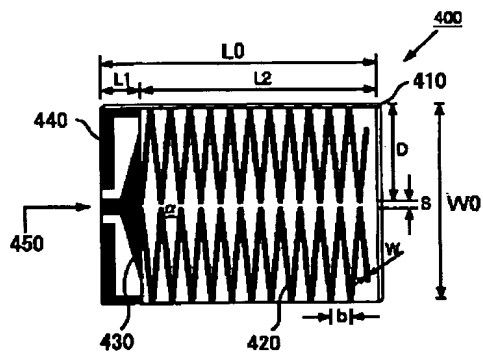
【図3C】



【図3A】

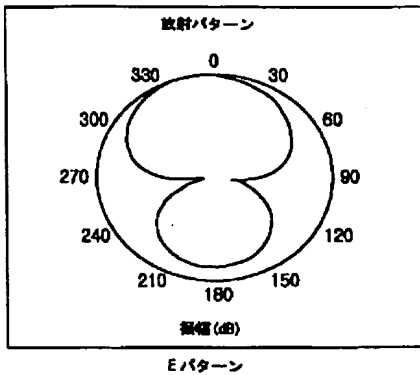


【図4A】

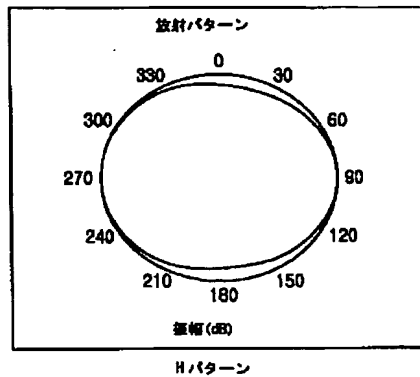




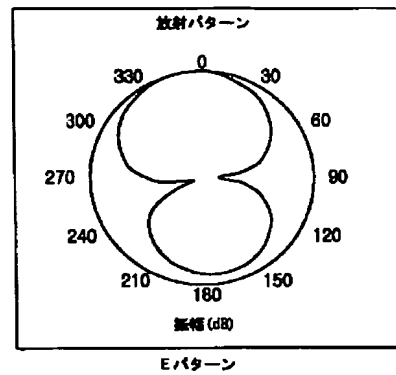
【図4B】



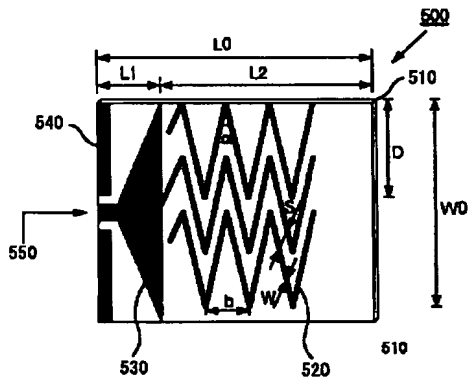
【図4C】



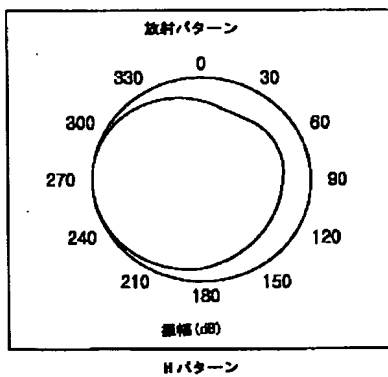
【図5B】



【図5A】



【図5C】



フロントページの続き

(31)優先権主張番号 1999-60442  
 (32)優先日 平成11年12月22日(1999. 12. 22)  
 (33)優先権主張国 韓国(KR)

(72)発明者 金 東 ▲ソブ▼  
 大韓民国京畿道利川市夫鉢邑牙美里山136  
 - 1